

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からでもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99753001 504 G

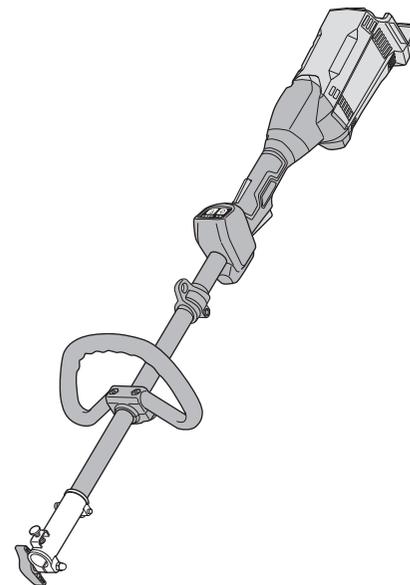
HIKOKI

取扱説明書

コードレス刈払機

36 V CG 36DC (DLN)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

警告表示について	1
シンボルマークについて	1
コードレス工具の安全上のご注意	2
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	8
用途	9
各部の名称	9
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	11

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	12
ご使用前の準備	13
各種操作方法について	16
保護機能について	18

その他

保守・点検・運搬	19
故障診断	20
ご修理のときは	裏表紙

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。

これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

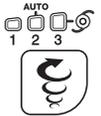
⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	取扱説明書をよく読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。		電源ボタン
	モード切替スイッチと表示ランプ		警告ランプ

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ③ 保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ 加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り (OFF)、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ 不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ 指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⚠️注意

- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用しないでください。**
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けられません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になる必要があります。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、本製品について、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

① 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

飛散物が体に当たるなどけがの原因になります。

② 作業はゆとりを持って行ってください。また、体を冷やさないようにしてください。

③ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れた人には工具を使用させたり、貸したりしないでください。

はじめて使用する人は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

④ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

⑤ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑥ 始動前に先端工具を点検してください。

- 先端工具にヒビ・割れ・変形がある物は使用しないでください。
- 先端工具が確実に取付けられているか確認してください。先端工具が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑦ アタッチメントのカバー、肩掛けバンドを取付けて作業してください。

⑧ ハンドルを取付けて作業してください。また、ガタつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ハンドルをしっかり握り、腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。

作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。

⑨ モーターを始動する場合は注意してください。

不意な始動は、けがの原因になります。

⑩ ロックレバーを固定しないでください。

誤ってレバーを引いたとき、不意に動き思わぬけがの原因になります。



警告

⑪ 機体からはなれるときは、電源ボタンを押して、電源 OFF にしてください。

⑫ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。

⑬ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業してください。また、木の根や岩のある所での作業はしないでください。先端工具の損傷や、けがの原因になります。

⑭ 回転速度をむやみに上げないでください。

作業の負荷に応じて、回転を調整しながら使ってください。飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。

⑮ 回転部に触れないでください。

髪の毛や衣服なども触れないようにしてください。

⑯ 次の場合はレバーをはなし、電源を OFF にして、回転部の動きが止まるのを確認してください。

- 作業場所を移動する場合。
- 作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
- 機体を体からはずす場合。
回転部が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。

⑰ 回転部に草などが巻き付いたときは、すぐにレバーをはなし、電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずし、取り除いてください。

- 回転部が停止していない状態で取り除こうとすると、けがの原因になります。
- 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります。

⑱ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにレバーをはなし、電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずし、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

⑲ 誤って機体を落としたり、衝撃が加わったり、破損や亀裂、変形が生じた場合は、使用しないでください。

⑳ 運搬や移動時は両手でメインパイプを持ち、先端工具を体から遠ざけるようにして運んでください。

㉑ 先端工具のカバーを付属の工具袋に必要なときにすぐ使えるように入れ、常に機体の側に置いてください。

㉒ 機体の運搬・保管する場合は、蓄電池を取りはずしてください。

㉓ 作業時以外は肩掛けバンドを機体からはずしてください。

㉔ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。

⚠ 警告

- ②⑤ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ②⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ②⑦ アタッチメント〔別売〕の取扱説明書をよくお読みください。
本製品はアタッチメントを取付けて使用します。
ご使用になるアタッチメントの取扱説明書をよくお読みください。

⚠ 注意

- ① 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
- ② 機体を立てて置かないでください。
不意に倒れ、思わぬけがや故障の原因になります。
- ③ 先端工具の取扱いは、厚手の手袋、布などで手を保護してください。
不用意に扱おうと、けがの原因になります。
- ④ 殺虫剤などの薬品が機体に付いたままにしないでください。
破損や亀裂が生じる恐れがあります。
- ⑤ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取り替えてください。
警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。
- ⑥ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。
- ⑦ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

⚠ 警告マークについて



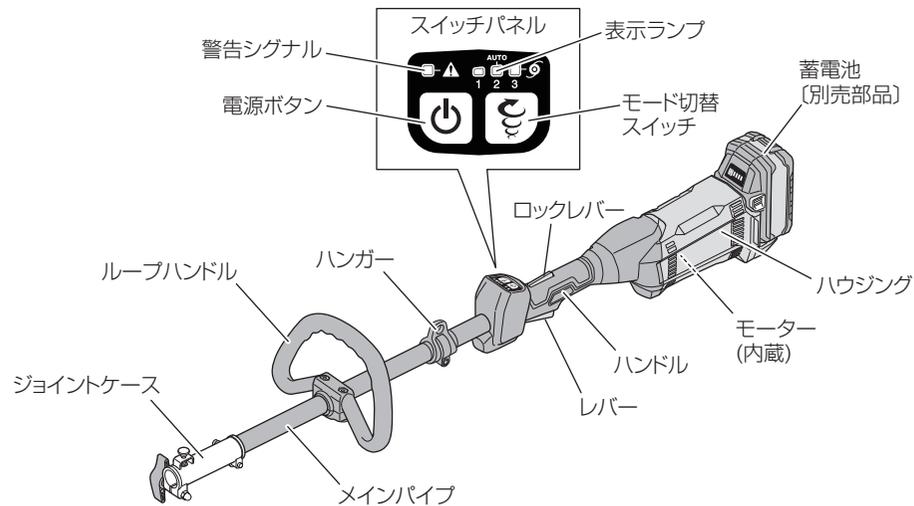
このマークのある操作・手順では、必ず電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や保守・点検、アタッチメントの交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

用途

●アタッチメント〔別売〕の駆動

アタッチメント取付け時の用途は、アタッチメントの取扱説明書を確認してください。

各部の名称



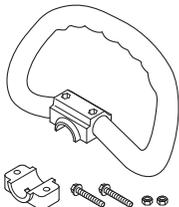
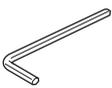
仕様

形名	CG 36DC (DLN)
操作ハンドル	ループハンドル (メインパイプ分割型)
回転数	パワー : 8,700 min ⁻¹ オート : 6,900 min ⁻¹ エコ : 4,400 min ⁻¹
工具本体寸法 (全長×全幅×全高)	1,060 × 227 × 193 mm [BSL 36B18X 装着、肩掛けバンドを除く]
質量	3.8 kg [BSL 36B18X 装着、肩掛けバンドを除く]
モーター	直流ブラシレスモーター
電池電圧	36 V
使用可能蓄電池*	マルチボルトタイプ蓄電池、背負式電源 BL 36200
ランプ	警告ランプ : 赤色 LED、電源 / 表示ランプ : 緑色 LED

* AC / DC アダプタ (ET 36A)、バッテリーアダプタ (W36-AD) は使用できません。

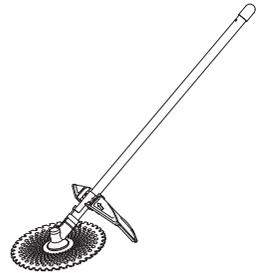
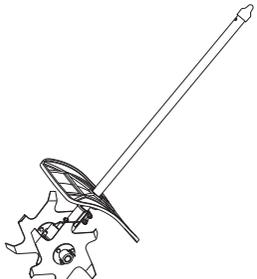
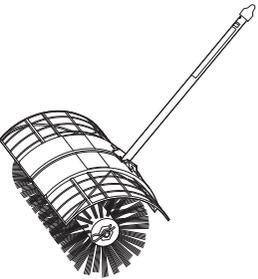
標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

<ul style="list-style-type: none"> • ループハンドル • ハンドル固定具 • ボルト (2本) • ナット (2個) 	<p>六角棒スパナ</p> 
<p>ボックススパナ (17×19 mm)</p> 	<p>保護メガネ</p> 
<p>肩掛けバンド (離脱ベルト式)</p> 	<p>工具袋</p> 

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

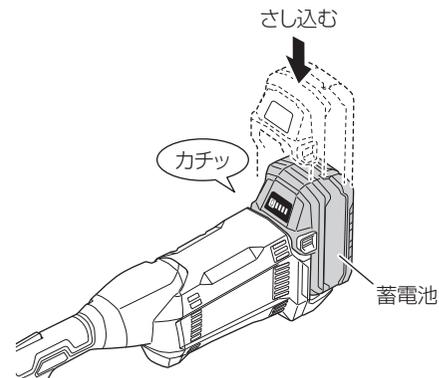
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

<p>刈払アタッチメント</p> 	<p>カルチベータアタッチメント</p> 	<p>パワーブラシアタッチメント</p> 
--	--	---

蓄電池の取付け・取りはずし

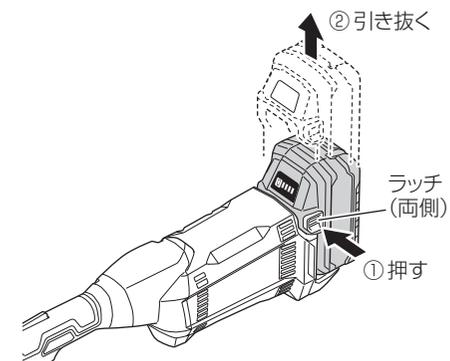
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



ご使用前の準備

本製品をお買い求め後、はじめてご使用になるとき、分解して保管していたときは、次のように組み立ててください。



この作業時は必ず電源を OFF にして、蓄電池を取りはずしてください。

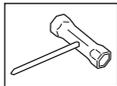
⚠️ 注意

アタッチメントの取付け・取りはずしの際には、厚手の手袋を付け、手や顔などに直接、先端工具などが触れないようにしてください。

● ループハンドルの取付け

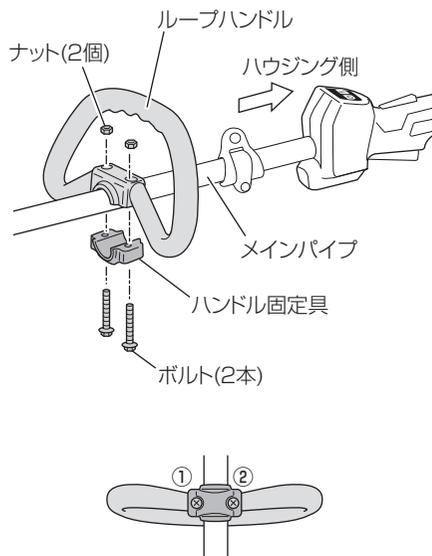


- 注** ● ループハンドルは、使いやすい位置を決めて固定してください。
- 取付けには、付属のボックススパナを使用します。



- ① ループハンドルに仮止めしてあるボルト(2本)をはずします。
- ② メインパイプ上側に、ループハンドルがハウジング側に傾くようセットします。
- ③ メインパイプ下側にハンドル固定具を当て、ボルト(2本)とナット(2個)を使用し固定します。

ハンドルを確実に取付けるために、ボルトの締付けは右図①、②を交互に少しずつ締付けてください。



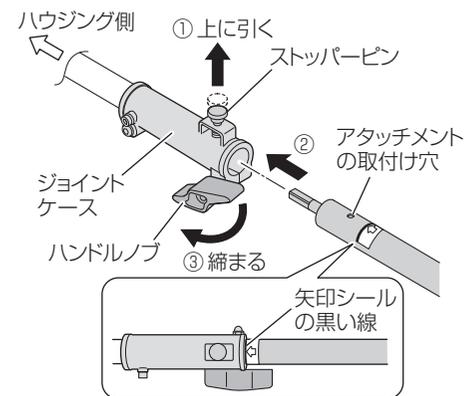
● アタッチメントの取付け・取りはずし



取付けるとき

- ① ジョイントケースのストッパーピンを上に取り上げます。
- ② アタッチメントを、矢印シールの黒い線までさし込みます。ストッパーピンが、アタッチメントの取付け穴に入ったことを確認します。
- ③ ハンドルノブを締めて固定します。

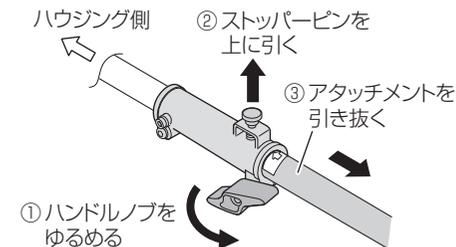
- 注** ● アタッチメントをさし込まない状態で、ハンドルノブを締めないでください。破損の原因になります。
- ストッパーピンがアタッチメントの取付け穴に入っていない状態で、ハンドルノブを締めないでください。



取りはずすとき

- ① ハンドルノブをゆるめます。
- ② ジョイントケースのストッパーピンを上に取り上げます。
- ③ アタッチメントを引き抜いてください。

- 注** ハンドルノブをゆるめすぎると、破損する恐れがあります。



●肩掛けバンドの取付けと使い方

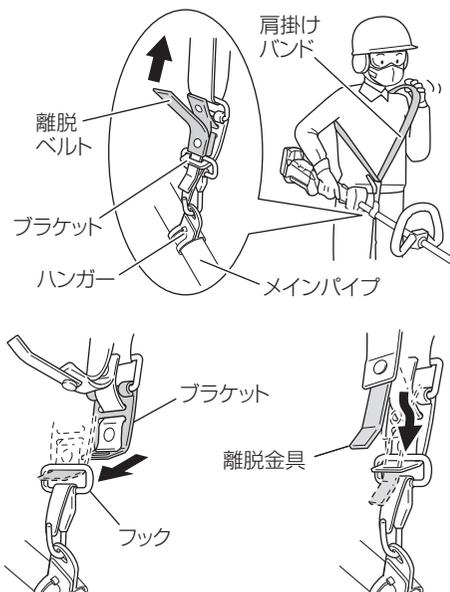
⚠警告

- 作業時は肩掛けバンドを着用し、機体を正しく保持してください。
- 危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドの離脱ベルトを引いて、機体を体からはなしてください。

⚠注意

- 離脱時は他方の手で機体のメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを引いてください。
機体を支えないで離脱ベルトを引くと、機体が足の上に落ち危険です。
- 肩掛けバンド装着前に、肩掛けバンドに切れ・ほつれ・損傷等がないことを確認し、正しく使用してください。
- 肩掛けバンド装着前に、フックやハンガーに変形・損傷がないことを確認してください。
損傷がある場合は、新品と交換してください。
- 肩掛けバンド装着後に機体を押し下げ、フックが容易にはずれたり、肩掛けバンドがゆるんだりしないことを確認のうえ使用してください。
- 作業前に離脱機能に異常がないことを確認してください。

- ① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、ハンガーに引っ掛けます。
- ② 肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。
- ③ 肩掛けバンドから機体をはずすときは、片手でメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。
- ④ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、離脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。
- ⑤ 軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。



各種操作方法について

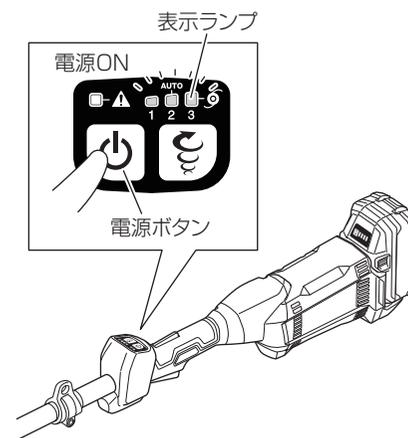
●電源ボタンについて

本製品は、電源ボタンを押して ON にすると表示ランプが緑色に点灯します。この状態でレバーを引けばモーターが回転します。

再度電源ボタンを押すと電源 OFF になり、電源ランプが消灯します。

電源 ON で、レバーが引かれない状態が 1 分間経過しますと、自動的に電源 OFF になります。電源を ON にするためには、再度電源ボタンを押してください。

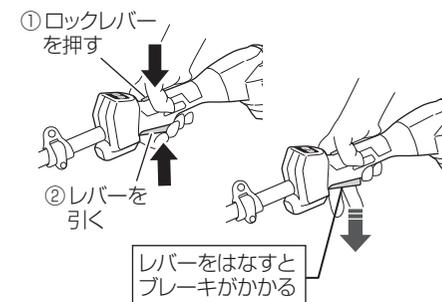
レバーを引いた状態では、電源ボタンを押しても ON になりません。



●レバー操作とブレーキについて

電源 ON の状態で、ロックレバーを押しながらレバーを引くと、モーターが回ります。

レバーをはなすと、1～3秒後にモーターの回転にブレーキがかかります。使用する前に、ブレーキがかかることを確認してください。



保護機能について

●モード切替機能について

モード切替スイッチを押すごとに、作業モードが切り替わり、表示ランプが点灯します。

オートモードは、負荷が小さいときの回転数を低くすることで、効率の良い作業ができます。

オートモードでは、負荷が大きくなると自動的に回転数を上げます。負荷が小さくなると自動的に回転数が戻ります。

エコ/パワーモードでは、負荷が変化しても回転数は自動的に切り替わりません。

注 ●ナイロンコードカッタ等の負荷が高い作業をするときは、パワーモードを選択してください。

オートモードで作業すると、負荷が軽減しても回転数は戻りません。

●負荷が低い作業では、回転数が切り替わらない場合があります。

●スイッチの入/切、蓄電池の抜き/さしにしても、設定したモードは維持されます。



モード	エコ	オート	パワー
表示ランプの点灯状態			
回転数	4,400 min ⁻¹ {回/分}	無負荷時回転数: 6,900 min ⁻¹ {回/分}	8,700 min ⁻¹ {回/分}

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、保護機能が搭載されています。作業中に過負荷(回転部のロックや草巻付き等)になると、保護機能が作動し電源ランプが点滅して作動を停止します。点滅状況を確認して対処してください。

下記の対処で再び使用できますが、操作荷重等を少なくするなど過負荷にならないように作業を調整してください。また、回転部に巻き付いた草を取り除く場合などは、電源をOFFにして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

チップソー等の先端工具の状態が悪い場合にも、保護機能が働くことがあります。その場合には先端工具を交換し、使用してください。



電源ランプ点滅状態	原因	対処方法
0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 (遅い点滅)	内部温度が高温となり規定値を超えたため、作動を停止した。 (モーターが停止し、1 分後自動的に電源 OFF) [温度保護機能]	電源を OFF にして、機体を十分に冷ましてください。 温度が下がれば再び使用できます。
0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 (速い点滅)	先端工具の負荷が規定値を超えたため作動を停止した。 (モーターが停止し、10 秒間点滅) [過負荷保護機能]	電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずし、過負荷の原因を取り除いてください。 原因を取り除けば再び使用できます。

注 対処方法を行っても電源ランプが点滅し続ける場合は、機体の故障が考えられます。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保守・点検・運搬

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用し
ないでください。

●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意して
ください。

●運搬・移動・保管方法

損傷箇所がある場合は修理してから保管してください。
運搬や移動時は両手でメインパイプを持ち、先端工具を体から遠ざけるようにして運ん
でください。

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所
- 立て掛けて保管しない

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状 況	原 因	対 策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取り除いてください。 蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。 蓄電池は「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
	蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。
	電源が ON になっていない	ハンドル部の電源ボタンを押し、電源を ON にしてください。 本機にはオートパワー OFF 機能が搭載されており、電源 ON でレバーが引かれられない状態が1分間経過すると、自動的に電源 OFF となります。
	ロックレバーを押してレバーを引いていない	本機は、誤操作による事故を防ぐため、ロックレバーを押しながらレバーを引かないとモーターが回転しない構造となっています。 ハンドルを握り、ロックレバーを押してレバーを引いてください。
	大量の草等が回転部に巻き付き、過負荷状態になっている	工具本体および蓄電池を保護するため、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。 いったん電源 OFF し、蓄電池を取りはずし、過負荷の原因を取り除いてください。もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。
動いてもすぐ止まる	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。
	過負荷状態で作業をしている	操作荷重等を少なくするなど、過負荷の原因を取り除いてください。

状 況	原 因	対 策
振動が大きい	先端工具が正しく取付けられていない	先端工具を取付け直してください。
	先端工具にヒビ・割れ、変形などがある	先端工具を交換してください。
	ハンドルがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
	アタッチメントのカバーがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
	ジョイントケースがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
先端工具の切れ味が悪い	先端工具が痛んでいる	先端工具を研ぎ出すか、交換してください。
	回転方向に対し、先端工具の取付け向きが逆になっている	正しい回転方向に先端工具を取付け直してください。
レバーをはなしても1～3秒の間にブレーキがかからない	故障と考えられる	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
アタッチメントの取付けができない	取付け部に異物がある	取付け部の異物を取り除いてください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。